

改めて「夫婦とは？」を考える



「漢方で家族をひとつにしたい」

先月号にも記しましたが、これが太田東西の根底の思いです。
そのために欠かせないのが「夫婦円満」。

しかし現実には
好きで一緒になったはずなのに、気づけば憎しみ合ったり、我慢し合ったり…。

「あれから40年」。

きみまるの言う通り、40年も経つと、およその夫婦は疲弊しています。
いや、40年どころか、最近は4年も続かない夫婦も目立ちます。

いったい結婚とは、夫婦とは、何なのでしょう？

(写真は相談室入口に飾っていますお客様からいただいた有田焼です)

新年早々、家族の危機！！

今年の正月は、東京の義父母が太田家を訪問することになっていました。
家族4人+両親2人+義父母2人。
合計8人での温泉旅行も企画して準備はOK。
義父母も久々の長崎。さぞかし盛り上がるだろうと楽しみにしていました。

長崎空港に降り立った義父母2人を6人でお出迎え。
そのまま佐賀の温泉宿に直行。
ゆったりとした炭酸水素塩のお湯に、身も心も癒され、気分は上々。
風呂上りは、お待ちかねのコース料理。
乾杯～～～！！
と、ここまではよかった。

太田東西はプライベートでも仕事のクセが抜けなくて、いつも司会進行役。
「さあ～今日は言いたいことはどんどん言って、大いに楽しめますよ～！」と
祝宴開始のあいさつ。
と、その時、左横に座っていた義父の口から、信じられない発言が！

「妻と離婚しようと思っています」

はっ？ ナニナニ??

「また～～、おとうさん、冗談でしょ！」と、横を見ると、真顔の義父。
義母に目をやると、さっきまでの笑顔は消え、やはり表情は険しい。
「これは冗談ではない……」

事のいきさつを義父母から「問診」し、なぜそうなったのかを「診察」する。
いつしか、ここは温泉宿ではなく、「太田東西薬局の相談室」と化している。
さらに今回は「外野」もいる。

外野の代表、太田の母が義父に言う。

「おとうさん、お互いに結婚48年ですよ。ここまできて離婚なんて考えたら
いけませんよ！ 私だってガマンガマンの48年なんですから～」

太田の父、とぼっちり。二次被害をこうむる…。

その後、杯を交わしながら「本音」で話し合い、離婚は却下となりました。
なにせ、「司会進行役」がいいですからね！（笑）

夫婦ゲンカは犬も食わない

事の発端は、ことわざのとおりでした。

しかし、当の本人にとっては一大事。頭では「犬も食わない」と理解できてもこころはモヤモヤとし、相手の態度にイライラとしてしまう。

家族の問題は、「第三者」を入れて解決をはかることが一番。

しかし、問題を「言えない」「さらけ出せない」人もいます。

配偶者にも言わない、言えない人が、第三者に相談なんてできません。

「自分の気持ちをわかってくれない...」

「もう言っても無駄だから言わない...」

そうした負のスパイラルから、「夫婦不仲」がしっかり完成されます。

義父母との付き合いはおよそ20年。

結婚して東京での5年間は、義父母宅の近くに住んで良くしてもらいました。

妻子よりも太田東西が、婿養子のように一番甘えさせてもらいました。

その恩返しもあって、急きょ「第三者」としても頑張りました(笑)

さらに太田東西は考えます。(これはきっと職業病です...)

「新たな『第三者』を投入して、夫婦の絆を固めよう!」と思いつき、翌日は昨年5月「母の日講演会」でご一緒したお坊さんのお寺へGO!

福元住職さんは親身になって義父母の声に耳を傾け、説法してくださいました。

そして太田の父母も合わせた4人に向けてこう、おっしゃったのです。

「皆さん、頑固ですものねえ～(苦笑)」



面談を終え、お寺を後にした義父の顔は

それはそれは、爽快な表情に変わっていました。

帰路、大村湾PAで「愛」を確かめ合う記念撮影。

恥ずかしいけれど今回の一件が皆さんのお役に立てるなら...と、かわら版のネタ提供に協力してくれた義父母と妻。

夫婦不仲で悩む多くの方々に教えてくれました。



「さらけ出す」「相談する」ことから問題は解決する、ということ。

ケンカは「修行の糧」

「夫婦ゲンカしてはダメ！ 健康のためにも夫婦円満を心がけるのです！」
そうじゃないんですよ。

太田東西は、美化された「儒教夫婦」は、逆に信用できません。
そこに「人間味」(人間臭さ)を感じないからです。

およそ夫婦は、お互いの価値観・考え方が違うもの。

「凸と凹」「+と-」「NとS」「動と静」...、そして「男と女」。

「相反するものが惹かれ合う」という、夫婦にも宇宙の法則があるかのように。
異形異質ゆえ、夫婦は衝突して当たり前なんですよ。

じゃあ、いったい何のための夫婦生活なのか？ ガマンくらべ？

いえいえ、答えは「凸が凹の良さに気づいて、それを受け入れていくこと」にあるのです。(凹が凸の場合同様)

しかし実際の現場では、凸が凹を否定批判したり、凹が凸に我慢忍従したり...。
「価値観の不一致」。離婚した芸能人がよく言っていますね。

凸凹。確かに「形」は違う者同士。

でもお互いに動けば、その形も違ってきます。

凸が右に90度、凹が左に90度動いて向き合えば、それは「カギと鍵穴」の関係になります。

相手の形を「認めて」、こちらから「動いて」、相手との「調和」を心がける。

凸が凹を、凹が凸を、認めて、受け入れる生き方。

形を超えた「たましいの修行」だと言わせてください(笑)。

夫婦ゲンカ、大いに結構！ どんどん言いたいことを言い合いましょう！

そして衝突した後は、いつまでもお互い「ふくれっ面」で過ごすのではなく
冷静になって「修行」に励みましよう！

どうしてもできないなら、第三者に相談する、入ってもらいましよう。

争うためではなく、「調和する」ために。

「病氣」をたくさん経験した人ほど、「健康の有難さ」を実感できるものです。

「不仲」の夫婦ほど、修行達成後の「夫婦円満」は、バラ色の楽園ですよ

(追伸 東京の義父母より。「あれからお互い修行に励んでいます。仲良くやっています。

今回の長崎訪問は新婚旅行になりました~ 」 婿は、う、う、うれしいです...涙)